

## 雄武町商工会

住所 紋別郡雄武町字雄武1885番地14  
 ☎0158-84-3141 ☎0158-84-4338  
<http://www.shokokai.or.jp/oumu/>

### ◆雄武町って？

雄武町は、北海道の東北部に位置するオホーツク海沿岸の町。鮮やかなコバルトブルーのオホーツク海に臨む海岸線は、35kmにも及びます。海岸から南西に伸びる大地には、緑輝く牧草が一面に広がり、その背後は原生林が残るピヤシロ山をはじめとする山系に守られています。

町内にはオホーツク海を一望できる「日の出岬」をはじめとする雄大な自然を満喫できる観光・交流施設があり、天然温泉の「ホテル日の出岬」、ガラス張りのユニークな展望台「ラ・ルーナ」、キャンプ場などを完備。毎年、多くの観光客が車やバイク、自転車で来て雄武を訪れます。

### ◆2階に商工会が入居する道の駅「おうむ」

国道238号沿い、雄武市街にシンボルとして建つ道の駅「おうむ」。この2階に雄武町商工会が入居しています。道の駅は雄武観光の情報発信と交流の場でもあり、売店ではおみやげも取り揃えているため、ドライバーやライダーたちが立ち寄り人気スポットです。



最上階のスカイクャンピからは、オホーツク海の日の出や流氷を眺めることができ、雄大なパノラマを提供します。

### ◆最近の商工会の取り組み

1. 移動販売車サンライズ稼働中！  
 たくさんの商品を積み、町民のみならずのお宅へ訪問しています。
2. 屋台村オープン！  
 道の駅「おうむ」横の駐車場にて9月に2日間開催。前売り券を千円で販売し、飲み放題！
3. おむライスコンテスト♪  
 カニ、ホタテ、サケ、コンブ、ダツタンそば、牛乳、チーズetc…、雄武町で獲るものなら、どんな特産品でも構いません。必ず一品以上使用した、雄武らしい創作料理「おむライス」のレシピを募集し、美味しい町づくりを！
4. 婦人部はボランティアで施設に花の花壇を整備！
5. 青年部主催「雄武de街コン」開催！  
 豪華賞品も当たる！町外の若者たちにも雄武を知ってもらい、特産品をアピールする目的+2次会には飲食店へ繰り出し、男女で楽しく交流してもらええる企画です。



楽しく笑顔が出るリハビリを目指し開発された、介護予防を支援するサポートマシン。身体機能の向上、脳のトレーニングにも役立つ。認知症の予防の効果も期待される。



管理人に見守られながら…

のびのび雄遊ランドは、旧 茂手木金物店舗を利用。経営者の茂手木豊治さんは、廃業と同時に雄武経済から引退しましたが、現在でも「この人なくして雄武の商工業の歴史は語れない」ほどの重要人物。功績も多く残され、道の駅の裏の桜公園も茂手木さんが手掛けた。



買物や町で用事を済ませた後は仲間がいるこの場所へ。

「ヒントはゲームセンターでした。あの日、TVの報道番組でゲーセンが高齢者の社交場と化していることを知りまして。なるほど、と思いましたね。と同時に、これだ！って直感したので。スマホ時代が到来し、家ですらテレビゲームをしなくなった若者がいる一方、そこに大挙して訪れる高齢者の心理を垣間見るようでした」と語る橋詰さん。

ゲーセンだけではなく、現在の大型スーパーやショッピングモールの中にも、必ずと言って良いほどゲームコーナーがあります。確かにそこを覗いてみると、多くの高齢者が孫と一緒に楽しんでいる微笑ましい姿がたくさん見受けられます。メダルゲームやクレイジーゲームなどは少ないお金で長時間楽しめるでしょうし、手足や視覚も使いますから、ちょっとした筋トレや脳トレ効果も。家の中で孤独に過ごすよりも、はるかに健康的でしょう。仕事をリタイアしたり年金生活者になったとしても、人はいつでも人とのふれあい、つながりの場を求めています。

「そんな矢先、長く雄武町の商業を牽引してこられた茂手木豊治さんが高齢のため金物店を廃業するという話を耳に挟みまして。そこで早速、茂手木さんにお会いし、ゲーム機などを備えた高齢者のための無料のコミュニティ・スペースをつくりたいので、店舗（雄武町大通商店街の一等地に立地）を貸してほしいとお願ひしました。すると茂手木さんは『町のためになるなら』と快く承諾してくださいました。そればかりかご自身で数百万円以上も費やされ、まだまだキレイな店舗なのに使い勝手を考え、台所、水洗トイレ、倉庫までも改装していただきました。そうして平成26年8月4日に町民ふれあい「のびのび雄遊ランド」開設の運びとなったのです。オープニング記念として、当日から3日間は「雄武産こんぶ入り手作り焼き」と「雄武産こんぶ入り御赤飯」を無料で振る舞い、介護予防を支援するサポートマシンの無料体験、ケアマネージャーを講師に迎え、た介護予防教室、体操も好評でした。」

橋詰さんの予想した通り、スポーツンフトが充実したゲーム機（3台設置）の前では「ストライクだ、やったあ！」の歓声が。「ところで○○さん最近見えないわね？」などと、おしゃべりにも花が咲きます。茂手木さんの妻の千恵子さんも「ここで介護予防のゲームをしていたら腕が上がるようになりましたよ。筋肉は使わないとすぐに衰えてしまいますから」と、開館日にはほぼ毎日顔を出し、利用者とのふれあいに一役買っています。今年4月1日にはリニューアルオープンし、雄武でチャレンジする人・企業を応援する施設として、土日祝日などの閉館時を有効活用するようになりました。

「この種の事業は箱だけつくって後はご自由に…というのが多かったのですが、商工会では3名の管理人を有給でお願いし、必ず誰かが常駐しています。」この施設を商店街活性化事業として推進していく中で、雄武町の高齢者はマチナカで温かな眼差しで見守られつつ、ますます「のびのび」としていくことでしょう。



スポーツソフトが人気のWii (R)。 ゲームを通じて仲間意識も育まれる。町の情報交換の場所でもある。

**のびのび雄遊ランド**  
 ◆営業日/毎週月・水・金曜日  
 ◆営業時間/10:00~16:00  
 ◆住所/紋別郡雄武町字雄武幸町(大通商店街 出稼食品(株)斜め向かい)  
 ◆主な設備/Wii (R)と大型モニター 介護予防を支援するサポートマシン 健康器具、将棋盤、オセロなど  
 オープンした当初は利用者を60歳以上としていましたが、現在はお孫さんなど家族同伴でもOK。

## リニューアルOPEN! 町民ふれあいのびのび雄遊ランド

かつては若者のたまり場だったゲームセンター。略して、ゲーセン。最近では全国のゲーセン、ショッピングモールのゲームコーナーが、多くの高齢者が憩う場所になっているのをご存知でしょうか？。まさか、こんな時代が来るなんて！

「のびのび雄遊ランド」はゲーセンをヒントに雄武町商工会の橋詰会長が考えた時代のニーズにこたえつつ、町の空き店舗を利用した一石二鳥のアイデア。新たな高齢者の居場所となった、お年寄りが集うコミュニティ・スペースに、元気なこの町のお年寄りの笑顔が、大きなガラスのウィンドーに輝き、会館の花壇や植木鉢の花のように明るく咲いているのでした。

**マチナカに、お年寄りの笑顔を！**  
 近年、雄武町の大通商店街の近代化事業と国道238号拡幅事業が実施され、商店街の機能と街並みも大きく変化しました。そこで、新しくキレイに整ったそれらのハードウェアに相応しいソフトウェアを模索すべく、雄武町商工会も活発な動きを見せています。同会の橋詰会長は、かつて特産品の魚貝類を使った「雄武の食卓」シリーズを全国に発信したアイデアマン。その人が次に実現したのが、お年寄りたちが集う地域コミュニティの創出でした。それが、町民ふれあいのびのび雄遊ランド。人口減少や高齢化が進む雄武町では、現在ほぼ3人に1人が65歳以上です。今後の市町村の商店街活性化事業の鍵は、高齢者が握っていると考え、平成26年8月に開設しました。



**雄武町商工会**  
 会長 橋詰 啓史さん  
 橋詰産業株式会社 代表取締役  
 主要商品: 雄武産りしり切りこんぶ・オホーツク海鮮ふりかけ・海鮮生茶漬け  
 ダツタンそばコロッケの製造販売 道の駅「おうむ」売店 いっぴく屋 経営

元々、砂利などコンクリート材料の製造販売を生業としていましたが、新たな雄武の特産品づくりを目指す地域活性化事業への参加を契機に、地元密着型の食品加工販売に取り組むことに。これまでに雄武特産の鮭やホタテの旨味を凝縮した煮ごごりを丸ごと具にした「海鮮生茶漬け」や珍しい生タイプの「海鮮ふりかけ」、前浜で揚がった「りしり切りこんぶ」などを商品化し、商工会はじめ地元経済人を巻き込み、地域一体となる取り組みに力を注いでいる。

